

世界のe-Govのリーダーとして、そしてe-Govの市場を得るために、新しい韓国のe-Govは英文の構想になっている。

1.背景

基本データ:人口:5,160 万人(2018 年推計、出所:統計庁)、国土面積:9万8千平方km、1人当たり名目 GDP 30,025ドル。

韓国の行政機関は、部処庁(日本の省庁に相当)と独立委員会に大別される。

部処庁は、17部5処16庁から成り立っており、検察庁は部処庁の一つである。

韓国は国連の電子政府ランキングで2010、2012、2014 連続トップであり、2018は3位となっている。

しかし、2017年11月に発表した革新的成長に向けた人中心の「第4次産業革命対応計画」によると、韓国は最近、低成長の慢性化・社会問題の深刻化による経済・社会の構造的・複合的危機に直面している。これは経済成長にばかり目を向けて社会問題解決への関心が比較的薄かったため、国民の QOL(生活の質)向上から乖離した成長となったと発表した。

そして2017年3月に発表したe-Gov戦略Korea e-Government Master Plan 2020を公開した。

2.現在のe-Govのあげた成果

1) 行政サービス

57,000,000部のオンライン証明書発行(Minwon24)および680,000の電子契約署名(KONEPS)

2) 政府行政システム

各政府機関の行政事業の情報化: オンナラシステム(e-承認)、管理情報共有、オンラインHR管理システム(人事)

3) 政府インフラ

政府全体の情報リソースの統合管理のための基盤構築 政府全体の統合データセンター(GIDC)、

4) 経済発展と雇用創出

2009年から2015年までの年間平均成長率77%

5) グローバル協力

過去3回の国連電子政府調査で世界1位の電子政府を達成し、世界的な地位を高め、輸出を増加



3.新しいe-Govのビジョンと戦略

図1 ビジョンと戦略

1)ビジョン:あなたの e-Gov をお楽しみください。

戦略:ENJOY は 5 つ(E.N.J.O.Y)の戦略目的と 15 の戦略目標で構成されている。

新しい e-Gov は、インテリジェント情報技術(第四次産業革命技術)を使用して新しいエコシステムを構築する。これにより、政府、企業、市民グループ、および個人は、すべての改革のために、よりよく協力できる。そして政府のイノベーションと持続可能な開発の足がかりとして機能する。

2)戦略実施計画:

戦略目的 1 E

市民のデジタル体験を強化する。市民がいつでも、どこでも、どんな書類でも、単一の認証プロセスを使用してオンデマンドサービスにアクセスできるようにする。市民は必要なサービスを開発することさえでる。

戦略目標 1

「すべてデジタルのゼロストップ」の政府サービスを開発する。

戦略目標 2

インテリジェント情報ベースのオンデマンド公共サービスを促進する。

政府は、個人の年齢、性別、職務情報などの個人情報のコンテキスト要素を分析して、サービスの必要性や希望が生じる前に、個人に利用可能なサービスを予測して提供する。

戦略目標 3

DIY(Do it Yourself)公共サービスを達成する。

政府は、市民や企業からのカスタムリクエストを満たすために、インテリジェントな情報リソース(ビッグデータ、IoT プラットフォーム、クラウドなど)を利用する。

戦略目的 2 N

新しいインテリジェントガバメント:認知と予測ベースのインテリジェント行政を実現する。

政府は、政府がインテリジェント情報をタイムリーに利用できるように行政環境を改革する最適な政策を決定し、開発する。リアルタイムの情報共有とコラボレーションに基づいて、オフィスと現場とで、全体がシームレスに作業できるようにする。

戦略目標 1.

インテリジェントな情報に基づいて行政を改革する

市民の安全とセキュリティを脅かす状況にタイムリーかつ効果的な方法で対応します。

戦略目標 2

時間とスペースに制限のない [O2O](#) 行政を実現する

これで、公務員は管理タスクをよりよく完了することができる;野外安全検査の実施など、行政文書の作成と提出、同僚、パートナー、市民とのコミュニケーションとコラボレーション。時間やスペースに関係なく、あらゆる種類のデジタルデバイスを使用して電子承認を提供することもできる。

戦略目標 3

産業と共存する新しい e-Gov エコシステムを作成する。

戦略目的 3 J

データ中心の政府の基盤を確立する

新しい e-Gov は、公共部門に最初にインテリジェント情報技術を適用することにより、経済発展を支援する。政府と民間部門が生産および配信システムを共有できる新しいエコシステムを確立し、将来に備えてデジタルクリエイティブな人材を育成する。

戦略目標 1 公共部門が主導する新しいデジタル産業を開発する

政府は、AI、robo-advisors、3D 印刷、ドローンテクノロジーを使用して新しい e-Gov サービスを開発、拡張し、インテリジェント情報産業の発展をサポートし、より多くの雇用を創出する。

戦略目標 2 社会的協力に基づいた[共有経済](#)の促進を支援する

政府は、民間部門が所有するリソースを使用して災害や伝染病などの社会的リスクに対応し、プライベートポータル、SNS、その他のオンラインチャネルを通じて e-Gov サービスを提供する。

戦略目標 3 未来に備えるためのデジタルクリエイティブな才能を育てる

戦略目的 4 ○

信頼を基盤とする e-Gov インフラを構築する。

e-Gov は、IoT プラットフォームを構築することにより、信頼性と安全性の高い将来の e-Gov インフラストラクチャを確立する。

戦略目標 1 強固に接続された e-Gov プラットフォームを構築する

戦略目標 2 リスクを認識できるセキュリティインフラを確立する。

市民は、AI を使用してリスクを認識できる自己防衛システムにより、サービスをより安全かつ便利に享受できる。

戦略目標 3 クラウドベースの[次世代行政情報インフラ](#)を確立する。

戦略目的 5 Y

韓国 e-Gov だ！

世界の e-Gov をリードする。韓国政府は、e-Gov のグローバルリーダーにふさわしい役割と責任を担う。さまざまな国の条件や要求に応じてグローバル市場を拡大し、先進国および発展途上国すべての利益のための将来の議題と革新的な解決策を特定する

戦略目標 1 グローバル市場でリードして、韓国に有利なエコシステムを構築

戦略目標 2 グローバルな e-Gov の先駆者としてのサービス

政府は、韓国に有利なエコシステムを構築することにより、グローバルな e-Gov の先駆者としての役割を強化し、最高の行政システムとその実践をグローバル化する

戦略目標 3 主要な e-Gov 輸出業者としての地位を固める

e-Gov の輸出業者は、官民連携の 5 つの戦略的枠組みで「e-Gov 協力センター」を設立することにより、10 億ドル(約 1000 億円)の収入をあげる。

4.2020年のデジタルガバナメント

2020年に実現するe-Govは図2に示す9つのシステムとなる。

What 2020 will look like with e-Government.

IV The Future in 2020



図 2 2020年のデジタルガバナメント

新しい楽しいデジタルエクスペリエンスを提供するデジタルガバナメント

1. 市民が経験する-市民が楽しむAI行政サービス

1) オールルデジタル、ゼロストップ

政府は、住民登録、不動産登録、家族関係など、最も頻繁に要求される証明書のコピーを本人にオンラインで提供する。

2) 統合されたカスタマイズされたサービス

政府は、年齢、性別、仕事などの個人のコンテキスト情報を分析し、必要なサービスを統合して事前に提供する。

3) クリエイティブでオープンなDIY

政府は、市民や企業からのカスタムリクエストを満たすために、インテリジェントな情報資源(ビッグデータ、IoTプラットフォーム、クラウドなど)を利用する。

2. インテリジェント・ガバナメント(AI基盤)

4) 現場でのモバイル管理

公務員は、現場で安全検査などの管理作業を処理し、文書を作成し、通信および共同作業を行い、時間と空間に関係なくあらゆる種類のデバイスを使用して電子承認を行うが出来る。

5) 時間通りのインテリジェントな意思決定

政府は、インテリジェントな情報技術を使用して、最適な代替案または政策を開発し、災害、安全、セキュリティの分野における複雑な社会問題にタイムリーに対応する。

6) リスクを感知する自己セキュリティインフラストラクチャ

政府は市民に、深層学習技術を使用してリスクを認識する自己防衛システムにより、サービスをより安全かつ便利に提供する。

3. デジタル産業

7) シェアリング・エコノミー基盤の公共サービス

政府は、災害や伝染病などの社会リスクに対応し、民間部門が所有する遊休資源をプライベートポータル、SNS、およびその他のオンラインチャンネルを通じてデジタルガバナメントサービスの中継する。

8) 新しいデジタルガバナメント産業と雇用

AI、ロボアドバイザー、3D印刷、ドローンなど第四次産業革命のデジタル技術を使用した新しいデジタルガバナメント・サービス 開発と拡大により、インテリジェントなデジタル産業の発展を支援し、より多くの雇用を創出する。

9) グローバル・デジタルガバナメントの先駆者

韓国に都合の良いデジタルガバナメント・エコシステムを構築し、韓国の最高のデジタルガバナメントシステムをグローバル化して、デジタルガバナメントの輸出は、2018年に10億ドル(約1000億円)に達する。